

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	船橋市西簡易マザーズホーム		公表日		令和7年3月21日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		居室空間が狭くならないよう整理整頓を実施。集団療育の際には児が注目しやすいように環境に配慮しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		多職種で連携しながら支援を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		適宜、ケガをしないように保護剤を使用する等対応しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		営業後は室内及び玩具を清掃しています。施設内の動線が妨げられないよう考慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		可能な限り応じられるように努力しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者から頂戴したご意見を吟味し施設運営・療育に活かしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		5年毎に実施します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		適宜、職員に対し、療育に係る研修の参加を促しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。			現在、公表に向けて準備中。年度内に公表します。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画を職員間で共有し適宜、内容を見直しながら支援を実施しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査の結果や行動観察を通してお子様の状況を客観的に把握できるよう努めています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援ガイドラインにそった支援内容を提供するよう心掛けています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		適宜、職員間で話し合いの場を持ちプログラムを検討しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節ごとの内容を療育内容に組み込んだり、曜日ごとに目的を変えた活動内容を提供できるようにしています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		今後も個別活動及び集団活動を大切にしながら支援を行います。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		開始前に打ち合わせを行い、その日の役割分担等の確認を実施しています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に打ち合わせを行い、児の様子を含め職員間で連携がとれるように努めています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援にあたった各職種ごとに当日の記録を残し、支援の検証・改善に役立てています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		児の状況と支援計画を評価し、必要があれば支援計画の見直しを速やかに行っています。	
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		要請があれば児童発達支援管理者を中心に適宜、参加しています。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		要請があった場合は速やかに対応し情報共有しています。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		要請があった場合は速やかに対応し情報共有しています。	
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			今年度から児童発達支援センター主催の会議が実施されています。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			○	コロナ禍以前は保育園と交流する機会がありました。今後そのような機会があれば前向きに検討します。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			適宜、保護者と相互的に児の状況や課題を確認し、共通理解に努めています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今後も保護者向け勉強会等を提供していきます。	
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的に面談し意向確認する機会を設けております。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		現在、保護者会はありませんが保護者同士が交流する機会を定期的に設けています。	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		親子通園のため保護者からの申し出があれば適宜、対応しています。	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的にホームページに掲載しております。園内にも行事ごとの様子を掲示しています。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現在、ボランティアの受け入れを行っております。より地域に開かれた事業運営を継続的に検討していきます。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルの周知に努めるとともに必要に応じて各種マニュアルの見直しを行っています。	
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月、日を設けて非常時を念頭においた訓練を実施しております。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		連絡帳等を用いて把握できるようにしています。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在、食事提供はありませんが療育活動の際にアレルギー物質に触れる可能性があるため適宜、ご相談・確認をしています。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを共有し再発防止対策を検討しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に1度は必ず研修機会を設け職員の虐待に対する意識向上に努めています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			